

千葉県におけるアワビの最大形[短報]

清水利厚・田中種雄

The Maximum Size of the Abalone in Chiba Prefecture

Tosiatu SIMIZU and Taneo TANAKA

千葉県は全国屈指のアワビ産出県で、マダカアワビ *Haliotis (Nordotis) madaka*, メカイアワビ *H. (N.) gigantea*, クロアワビ *H. (N.) discus discus* の3種が漁獲されている。エゾアワビ *H. (N.) d. hannai* は銚子沿岸で生息が知られている¹⁻³⁾。最近エゾアワビを除く上記大型アワビ3種が種苗生産されており、県内各地に年間200万個体前後が放流され、放流後3～5年で制限殻長の12.0cmに達して漁獲回収されている。

最近漁業者から大きく成長したアワビ放流貝の採捕報告があった。アワビ資源の増殖や、資源管理を考える上で必要な成長及び最高年齢を知る貴重な情報である。

このアワビは1994年8月26日に安房郡千倉町千田地先の禁漁区で漁獲されたクロアワビで、殻長224.0mm、体重1,810g、放流時殻長34.0mmで、放流後に形成された殻の輪紋は10本を数えた。1975年から1999年までの25年間の水産試験場の調査記録にある、天然産及び放流種苗の再捕個体を含む漁獲クロアワビ116,682個体のうちで最大である。アワビの成長は地先によって差があるが、これまで知られている県内7地先産クロアワビの成長式⁴⁾の極限殻長の範囲である161.1～208.6mmを超えており、このクロアワビ標本の殻長224.0mmは、同種としてほぼ最大であろうと考えられる。人

工種苗の飼育期間は1～3年であり、漁獲までの10年を加えると生後11～13年と推定される。寿命はそれ以上、おそらく15年以上あると考えられる。

なお水産試験場の記録に見る最大アワビは、メカイアワビ(34,816個体中)が殻長230.0mm(1992年5月15日)、マダカアワビ(6,610個体中)が殻長240.0mm(1979年5月28日)でいずれも夷隅郡大原町沖の「器械根」における漁獲物である。年代によって最大型が変化するという意見がある⁵⁾が、1964～1976年の器械根産の漁獲物測定記録でも同大で、メカイアワビは殻長23.3cm(1974年6月3日)、マダカアワビは殻長24.6cm(1972年9月4日)が最大である⁵⁾。

文 献

- 1) 稲葉 享(1965):銚子半島の貝。「銚子の自然」, 銚子市観光協会編, pp. 136-160.
- 2) 宇野 寛・銚子市水産課(1965):千葉大臨海研報告, 7, 108-151.
- 3) 渡辺富夫(1988):海産貝類。「銚子現生貝類目録」, 自然を楽しむ会会報, 4, 1-96.
- 4) 清水利厚(2000):千葉水試研報, 56, 15-20.
- 5) 大場俊雄(1977):採集と飼育, 39(3), 123-125.



図 千葉県における最大のクロアワビ *Haliotis (Nordotis) discus discus*

殻長224.0mm, 体重1,810g, 放流時殻長34.0mm

1994年8月26日安房郡千倉町千田地先禁漁区産

殻頂部が人工種苗を示す緑色を呈している

上左：背面

上右：臙面

下左：右側面

上右：前面